

大樹

たいぎ 議会だより

No.182

2020
令和2年
10月発行



第3回定例会

契約、補正、決算認定… P2～5

第4回臨時会

予算の追加補正……… P6

一般質問

7名の議員から8項目… P7～14

※写真は、秋晴れの天候に恵まれた大樹中学校体育祭の様子です。
新型コロナウイルス又感染症の影響で秋の開催となりました。
ソーシャルディスタンスを考慮しながらも全力疾走する姿に感動しました。

発行／北海道大樹町議会

編集／大樹町議会広報広聴常任委員会

スマート街区にかかる 約を締結

- ⇒ 陳情1件、報告2件、委員の任命1件、
- ⇒ 一部事務組合理約の変更3件、
- ⇒ 補正予算8件、計画の策定1件、
- ⇒ 契約の締結7件、財産の取得2件、
- ⇒ 財産の処分1件、決算の認定8件
- ⇒ 意見書の提出3件を審議

● 令和元年度決算認定！ ●

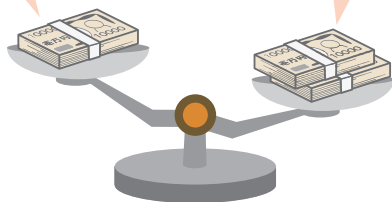
(千円未満切捨て)

会計区分		歳入総額	歳出総額
一般会計		68億3,261万円	66億9,709万円
特別会計	国民健康保険事業会計	6億9,310万円	6億7,035万円
	後期高齢者医療会計	9,198万円	9,176万円
	介護保険会計	7億3,550万円	7億1,172万円
	介護サービス事業会計	4億48万円	3億8,744万円
	公共下水道事業会計	4億1,286万円	4億647万円
	水道事業会計	5億3,993万円	8億80万円
	国民健康保険病院事業会計	9億2,301万円	10億5,252万円



気になる 借金と貯金

貯金 基金 36億2,227万円
借金 町債 99億4,711万円



教えて！議会用語 「決算認定」

Q 決算の認定って？

A 歳入歳出決算を総合的に検証し、どのように予算が執行され、どのような効果があったかを客観的に判断し、改善点などを予算編成や財政運営に活かすことを目的としています。
議会は決算を審査し、認定に関する議決を行います。

監査委員意見書



澤尾廣美代表監査委員

予算の執行において関係法令に従い、適正かつ効率的に執行されているか、それぞれの関係諸帳簿及び証拠書類の照合、並びに住民福祉の増進という町行政の本旨に沿った執行が行われているかに主眼を置き延べ35日間審査を実施した。

いずれの調書においても法令に準拠して作成されており、所定の期間内に出納閉鎖がなされ、関係諸帳簿及び証拠書類と照合精査した結果、計数に誤りはなく正確であり、かつ関係法令にも適合し、予算の執行も概ね適切に行われたものと認める。

一般会計予算追加補正

赤ちゃん特別定額給付金他で1億1,031万円 光ファイバー整備で5億647万円

今定例会でも新型コロナウイルス感染症の関連予算が追加補正されました。

公共施設のパーテーションや検温・消毒システム等の費用577万円、国の特別定額給付金の基準日以降に生まれた赤ちゃんへ1人10万円を支給する費用として450万円、中小企業のコロナ対策設備経費の支援に1,500万円、水産業の経営継続支援事業として1,436万円、小中学校のコロナ対策用備用品やリモート授業に備えての環境整備費用に504万円などを追加予算計上しました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響で中止になった行事や事業、各種大会、研修会等にかかる費用、約1,877万円の減額補正も同時に行いました。

その他、生花行政区会館の新築に係る地質調査費用495万円、晩成温泉多目的トイレの整備やコロナ対策用備品を購入するための費用419万円も追加計上しました。

最終日には、光ファイバー未整備地区の高度無線環境整備を行うための予算、5億647万円を追加計上しました。早ければ令和4年度の供用開始を予定しており、市街地以外の区域でもインターネットの速度ストレスが解消され、移住促進も期待されます。

工事請負契約の締結

工 事 名	契約金額	契 約 の 相 手 先
大樹町役場庁舎建設工事(建築主体)	10億7,030万円	川田・高橋・菊池特定建設工事共同企業体
〃 (電気設備)	3億5,108万円	勝海・北口・神山特定建設工事共同企業体
〃 (機械設備)	3億1,900万円	奥原・北海道アルファ・田中特定建設工事共同企業体
〃 (地中熱設備)	2億8,919万円	有我・上野特定建設工事共同企業体
〃 (外構第1工区)	1億3,007万円	播間・高橋・エフリード特定建設工事共同企業体
多目的航空公園倉庫新築工事	9,900万円	株式会社高橋工務店
木質バイオマスと太陽光発電等を活用したスマート街区構築工事	5億3,240万円	大成建設株式会社札幌支店

意見書の提出

* 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

【提出先】衆参両院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣、農林水産大臣
経済産業大臣、国土交通大臣、環境大臣、復興大臣

* 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

【提出先】衆参両院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣
内閣官房長官、経済再生担当大臣、まち・ひと・しごと創生担当大臣

* 国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書

【提出先】衆参両院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、国土交通大臣、国土強靱化担当大臣

特別委員会

安田議長と村瀬監査委員を除く10名で徹底審議！



齊藤 徹 委員長



安心・安全のために

道路橋梁費 **3億9,578万円**

町道や橋の維持管理、除排雪に要した経費です。



寄附の有効活用

ふるさと納税推進業務 **2,028万円**

ふるさと納税された方への返戻品などに要した経費です。昨年の寄附実績は、2,207件で3,112万円でした。

問

野ネズミ駆除の薬剤散布面積は

答

町有林337.7haに散布。私有林は森林組合で実施



松本 敏光 委員

問

こどもミニドック健診の受診者数が伸びない理由は

答

学校長や保護者へ案内し、今後も粘り強く呼びかけを継続



西岡 輝樹 副委員長

問

大樹町立病院の入院、外来患者の減少要因は

答

数字での把握は難しい。他町へ患者が流れる、人口減少等の様々な要因と考える



菅 敏範 委員

問

通年雇用促進支援事業の内容と通年雇用に関わった人数は

答

通年雇用化の意識啓発セミナー、人材育成事業等を行っている。通年雇用促進協議会の事業に参加した8人のうち3人が通年雇用に関わっている。



志民 和義 委員

賛成

船戸 健二 議員

健全化判断比率において、起債の償還が順調に進んでいることなどから、健全な財政状況であることが評価できるとともに、予算も効率的かつ適正に執行されていると考える。よって、本案に賛成する。

討論

志民 和義 議員

税の滞納者対策は、滞納整理機構に負担金を支出するのではなく、町職員によって解決することが重要であると考え。よって、本案に反対する。

反対

賛成

菅 敏範 議員

後期高齢者医療制度は、高齢者の方が安心して医療を受けられるよう構築されたもので、安定した事業運営が行われており、町の事務処理も適切に遂行されていると考える。よって、本案に賛成する。

討論

志民 和義 議員

後期高齢者医療制度は、発足当初から高齢者を区別するものであるとの批判が多く、それまでの老人保健制度による事業運営で問題なかったと考える。よって、本案に反対する。

反対

特集

令和元年度決算審査

9月14日～9月17日(4日間)

寺嶋誠一委員



問 町営牧場入牧料単価改定の考えは

答 現在は管内でも安い料金。町営牧場の在り方や料金設定を検討

辻本正雄委員



問 ふるさと納税の返礼品として、地場産品研究センターを利用して新たな商品を開発しては

答 一次産業者、商工業者等と幅広くアイデアを共有しながら、新たな地場産品の研究開発に取り組んでいきたい

吉岡信弘委員



問 インフルエンザワクチン費用助成の対象者拡充を

答 管内の情勢を見ながら、必要であれば対応するよう、今後の動向を注視する

西山弘志委員



問 救急応急手当等の講習の受講人数は

答 普通救命講習は4回で20名、一般講習は13回で164名が受講

船戸健一委員



問 公園の機能分担の考えは

答 公園の施設整備、遊具更新の場面において機能分担の考えも持ちながら進めていきたい

地域活動の拠点



福祉センター費 971万円

施設の修繕や管理運営に要した経費です。

安らぎの場に



公園費 1,556万円

町内都市公園等11箇所の芝管理や樹木剪定、維持補修に要した経費です。

表決の分かれた議案

※齊藤委員長は表決に参加しません

議案名	寺嶋誠一	辻本正雄	吉岡信弘	西山弘志	船戸健一	松本敏光	西田輝樹	菅敏範	志民和義	齊藤徹	結果
令和元年度大樹町一般会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	認定
令和元年度大樹町後期高齢者医療特別会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	認定

第4回 臨時会

いよいよ役場庁舎の工事が はじまります (7月22日開会)

補正予算3件
を議決

一般会計予算3億9,975万円を追加補正

役場庁舎の建設に係る初年度費用や新型コロナウイルス感染症予防対策用の防護服・マスク・避難所用簡易ベッドなどの備蓄品を購入する予算を追加計上しました。

また、役場庁舎建設事業にかかる債務負担行為や地方債の補正も行いました。

役場庁舎建設事業 (R2年度分)	3億7,561万円
福祉避難所 備蓄品経費	200万円
消防団用 備蓄品経費	112万円
防災対策用 備蓄品経費	1,879万円



介護サービス事業特別会計予算221万円を追加補正



老人デイサービスセンターと老人ホームの介護に必要な新型コロナウイルス感染症予防対策用の防護服や特殊マスク、フェイスシールド、ガウン、ゴム手袋などを購入する予算を追加計上しました。

水道事業会計予算635万円を追加補正

坂下浄水場や前処理施設、通信機器など、落雷被害を受けた水道施設7ヶ所の修繕にかかる予算を追加計上しました。

行政報告

- 生花郵便局の廃局予定について報告がありました。
- 役場庁舎建設に関する住民説明会の開催件数や参加人数、質疑内容の報告がありました。
- 大樹町子ども・子育て支援会議委員20名を任命しました。
- 第8期大樹町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員会委員13名を任命しました。
- 第1回大樹町農業委員会総会において、穀内和夫会長と原口武実職務代理が決定しました。



議会議員 25年!

志民和義議員が
北海道町村議会議長会
自治功労者表彰を
受賞されました。

ここが聞きたい!

町民の声を



一般質問

町政に届ける

町民の代表として7名の議員が8項目について質問しました



西山 弘志 議員

◎高齢者の交通手段の確保について



西田 輝樹 議員

◎地域おこし協力隊制度の活用について



寺嶋 誠一 議員

◎第5期大樹町総合計画について
(広域利用への転換)



吉岡 信弘 議員

◎大樹保育園の建設理由について



志民 和義 議員

◎少人数学級の推進について
◎精神障がい者の鉄道運賃割引制度について



菅 敏範 議員

◎プラスチックごみの削減と適正分別の徹底を



齊藤 徹 議員

◎R2年度一般会計の進捗状況とR3年度以降(予算・財政)の見直しについて

◆一般質問とは◆

一般質問は、町の事務や事業に関して質問できる大事な議員活動の場です。年4回の定例会に行い、臨時会ではできません。

・質問時間は30分

大樹町議会では、議員が質問できる時間は1問につき30分以内です。答弁の制限時間はありません。

・一問一答方式

議員と町長が対面して、1つ質問をして、1つ回答をします。

・事前通告

質問する議員は、前もって質問内容を記した「事前通告書」を提出しなければなりません。

・登壇順(質問順)

原則として、通告書の提出順に質問します。

※ 1名につき1ページを割り当て、内容を要約して掲載しています。

ここが聞きたい!

一般質問

質問

帯広・広尾間のバス運賃助成を

答

運賃助成含め、総合的拡充検討

Q1 高齢者の交通手段の確保について

質問

運転免許証や自家用車を持たない高齢者が町外に出るための公共交通機関は、現在、路線バスのみであり、買物や通院などで定期的に乗車すると大きな負担となる。他の自治体では、広尾線の十勝バス無料化も開始されたと聞いている。高齢者の足を確保し、経済的負担を軽減するための考えはないか。

答 (酒森町長)

十勝バス(株)では、60歳以上で運転免許証を自主返納された方のバス賃を半額にする制度を設けて

おり、町では、その際に必要な運転経歴証明書の交付手数料を助成している。元々免許証を持っていない方のためにも、バスの運賃も含めて総合的に助成内容の拡充を検討する。

質問

ふれあいバスや通院バスの市街地運行を実施し、高齢者等の必要な各所を繋ぐ地域に密着した路線にすべきと考えるが。

答 (酒森町長)

市街地のふれあいバスは、現在、路線バスやタクシーと競合するなどの理由から実施していないが、高齢者や運転免許証を持たない方の交通手段の確保を図るため、今年

度、地域公共交通会議において利便性の高い公共交通の在り方を検討する。

質問

現在実施しているタクシー利用券助成制度は、対象者に該当するための審査が厳しいとの声があるので、緩和できないか。

答 (酒森町長)

利用者の審査は、民生委員の意見や家族の支援状況などを勘案して決定している。今後も支援が必要な方にサービスを提供し、生活の安定と保健向上の一助としたい。



町の条例で、病気治療のために医療機関に通院している方に対して、通院に係る経費の一部を助成しています。年額15,000円で、70歳以上もしくは60歳~69歳までの下肢・体幹に障がいのある方のうち、家族や親族等の協力が得られず、通院手段の確保が難しい方が対象です。



西山 弘志 議員

帯広・広尾間を走る十勝バス



ここが聞きたい!

一般質問

協力隊は地引網体験もお手伝い



Q1 地域おこし協力隊制度の活用について

質問

町内における地域おこし協力隊の活動状況は。

答 (酒森町長)

現在協力隊として活動しているのは2名。1名は、こども交流の推進員であり、南十勝長期宿泊体験交流協議会(STEP)のスタッフとして活動し、1名は9月からの委嘱で「本」を活用したまちおこしの活動をしている。

質問

十勝管内の協力隊の活動事例や人数は。

答 (酒森町長)

令和元年度の隊員数は85名。活動事例は有害鳥獣被害防止や伐採作業などの農林振興、キャンプ場の管理運営などの観光振興、外国語指導助手やスポーツ教室などの教育振興で活躍されている。

質問

町内で活躍された協力隊の退任後の状況は。

答 (酒森町長)

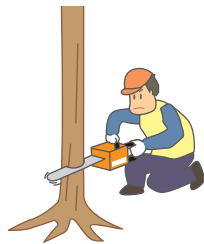
これまでの退任者は11名。STEPのスタッフや経済団体で勤務の他、起業や婚姻などで6名が町内で活動されている。その他の方は出身地などで活動していると聞いている。

質問

今後の協力隊員の活用や採用計画はあるか。

答 (酒森町長)

協力隊の活用は、人口減少や高齢化などの進行が著しい地方において地域力の維持・強化のため有効な方策と考えている。現時点で採用に向けて具体的な計画はないが、新たな視点や町内定住に繋がるように活用を図っていききたい。



質問

答

地域おこし協力隊の積極的活用を
地域外人材を受け入れ地域活性化



西田 輝樹 議員



地域おこし協力隊って?

都市地域から過疎地域等に移住し、地場産品の開発やPR、商店街活性化などの地域おこし支援や、農林水産業の従事、通院や買物サポートの住民生活支援など「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る総務省の取り組みです。全国では5,500人以上が活躍。活動期間は概ね1年以上3年以下で、活動に要する経費は、1人あたり440万円を上限に特別交付税で自治体に措置されます。

ここが聞きたい!

一般質問

質問

経費節減のため公共施設の広域利用を

答

連携も視野に適正規模を心掛ける



寺嶋 誠一 議員

Q1 第5期大樹町総合計画について
(広域利用への転換)

質問

令和2年1月に第5期大樹町総合計画執行計画で、庁舎建設や防災無線のデジタル化整備、法人認定こども園、晩成・生花行政区会館、プールの建設など各種事業計画が示された。財政シミュレーションでは、町債残高が令和6年度にピークとなり、その後、償還額よりも借入額が少なくなるため、残高が減少すると試算されている。現時点で削減できる事業が考えられないため、施設の広域利用という視点で見直しをどうするか。

答 (酒森町長)

十勝圏域や近隣町村と連携し、特定の事務事業を共同化する広域行政は、行政サービスの多様化や人口減少への対応、行政運営の効率化の面から一段と重要性が増している。今後計画している公共施設等は、広域利用も視野に入れ、適正規模を心掛けたい。

質問

プールは6月～9月までの間、年平均86日程度の利用であり、主に中学校の授業で利用している。他町村の広域利用は可能か、不可能であれば理由や課題を説明願う。

答 (板谷教育長)

6月～9月の利用だが、特に7月は水泳授業などで休日を除いたほぼ毎日、児童生徒や園児が調整しながら利用している状態である。老朽化が著しいため、令和4年度にプールの建設を予定している。広域利用で、建設や維持コストの削減も考えられるが、複数校の利用に伴い、授業日数の確保が困難になる他、町外への移動時間が授業を圧迫する課題がある。

質問

現在のスケートリンクのセンターハウスをリノベーションし、夏はプール、冬はスケートとオールシーズン利用できる多目的施設にするなど、プール建設事業に限らず財政負担を考慮し、事業見直しも検討すべきでは。

答 (酒森町長)

検討余地は十分ある。既存施設の利活用はもちろんで、必要施設の建設は新たな維持管理費用が発生するため、適正規模で建設すべきであり、同様の施設の整理や活用についても検討が必要と考える。

プールの広域利用は可能か



ここが聞きたい!

一般質問

南北統合で保育環境充実



Q1 大樹保育園の建設理由について

質問

町長は大樹保育園の建設について、令和元年9月議会では「大樹福祉事業会の2つの認定こども園の老朽化もあり、一つに統合した認定こども園建設を、理事会等で協議されている」と答弁し、令和2年3月議会の予算審査特別委員会では、「南北の保育所については、私は老朽化で統廃合するとは聞いていない」と、相反する答弁をしている。老朽化による建設なのか、老朽化ではないのか、はつきりした答弁を伺う。

答 (酒森町長)

大樹南保育園は昭和56

答

老朽化も一つの要因

質問

大樹保育園建設、老朽化か否か

年に建設、平成12年に事務所部分を増築。北保育園は昭和42年に建設、昭和53年と昭和61年に増築。両園とも年数は経過しているが、保育士不足の状況が続いていることや、入所人数に見合った効率的運営ができるように、統合した新たな施設整備を協議検討して定員や施設規模を決定し、現在、保育園の実施設計を行っている。

質問

建設する一番の理由は老朽化か老朽化ではないのか、再度伺う。

答 (酒森町長)

最も重要な理由は、老朽化ではなく、保育士の確保や現在の定員に対する入園児数等を考慮した

幼児教育を行うことである。法人等と協議を重ね、施設の統合が子ども達の保育環境や保育士の労働環境、指導の充実について最善であるという考えである。

質問

令和2年度から始まる第2期大樹町子ども・子育て支援事業計画には、「南北保育園の老朽化に伴い統合した認定こども園の整備を進めます。」と記載されており、町民にも令和2年4月号の広報紙で周知しているが。

答 (酒森町長)

計画書の記載は事実である。答弁では老朽化も一つの要因であると説明しているが、「老朽化」の記述について答弁の中

質問

いずれにしても、開催議会は違うが、一事案について、真逆の答弁をしている。議会全般において、これまでの説明はどうだったのか、今後の説明はどうなのか、今後の議案等を判断する際、非常に支障をきたすものと危惧する。

答 (酒森町長)

説明をする中で、議員や町民皆様のとらえ方に誤解を招いたのであれば、私の力不足だったと思う。



吉岡 信弘 議員

ここが聞きたい!

一般質問

質問

コロナ対策を含め、少人数学級実現を

答

実現に向け、引き続き要望



少人数学級の実現を

Q1 少人数学級の推進について

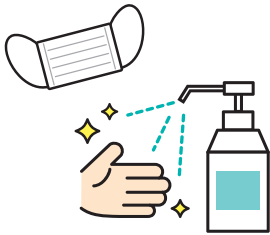
質問

少人数学級の実現に向けて町や教育委員会が前向きに取り組んでいることを承知している。政府の教育再生実行会議が開催され、新型コロナウイルス禍の学級に関し、学級規模の少人数化について議論したと聞いている。その議論はどのような中身か。

また、少人数学級については意見が一致しているが、特にコロナ禍の中、3密を避けるためにも早急に少人数学級の実現に向け、国に意見を伝えるはどうか。

答 (板谷教育長)

第47回教育再生実行会議で委員から小中学校は、1学級40人を基本に編制されているが「30人未満学級を実現してほしい」との意見が出されている。当委員会としては昨今のコロナ対応の観点からも、学級の少人数化実現に向け、全国町村教育長会や北海道教育委員会協議会連合会などを通じて引き続き要望していく。



Q2 精神障がい者の鉄道運賃割引制度について

質問

身体障がい者、知的障がい者に鉄道運賃割引制度があるが、精神障がい者への割引制度はないと聞いている。JR北海道へ精神障がい者へも割引制度の導入を行うよう求めはどうか。また国が財政支援を行うよう求めはどうか。

答 (酒森町長)

精神障がい者に対する鉄道運賃割引制度を行っている鉄道会社は全国的に少ない。昨年の国会で精神障がい者の交通運



志民 和義 議員

賃に関する請願が採択され、障がい者基本法の改正により精神障がい者も障がい者と規定された。精神障がい者に対する交通運賃の割引制度の実施事業者も広がりを見せているので、今後の動向を注視していく。また、十勝町村会などを通じて、要請することも検討する。



ここが聞きたい!

一般質問

町内の山中に投棄されたごみ



質問

答

「プラごみ削減」に町民の「3R運動」を

一般廃棄物処理基本計画で役割を明確に

Q1 プラスチックごみの削減と適正分別の徹底を

質問

7月からスーパー等の小売店でレジ袋が有料になり、その背景には海洋生物に多大な影響がある「海洋プラごみ問題」がある。私達の経済活動や日常生活で発生する様々なプラ製品の使い捨て容器の削減やリサイクル等の一層の促進が必要と考

答 (酒森町長)

平成22年度から資源回収を実施しているが、ごみの排出量や資源ゴミの割合は横ばいである。ごみの減量化・資源化は重要な課題であり、環

境型社会の実現に向け、町民・事業者・行政が一体となって取り組むことが必要と考える。

質問

ポイ捨てや放置をなくし、適正分別回収の徹底に向けたPR強化活動に取り組むべきでは。

答 (酒森町長)

違反ごみシールの活用や外国人向けチラシの配布、不法投棄啓発看板等で対応してきたが、広報紙や無線放送に加え、教育活動の中で、子ども達にも伝えていきたい。

質問

海岸線や河川、道路周辺のごみ回収を定期的に行えないか。

答 (酒森町長)

春と秋の行政区環境整備の他、各種団体のボランティア活動で清掃をしていただいている。新たな取り組みの考えはないが、必要に応じて検討したい。

質問

プラ製品の「再利用・減量・再使用」の3R運動の取り組みが環境汚染対策の大きな力になると考えるので「環境に優しいまち」としての具体策を検討するべきでは。

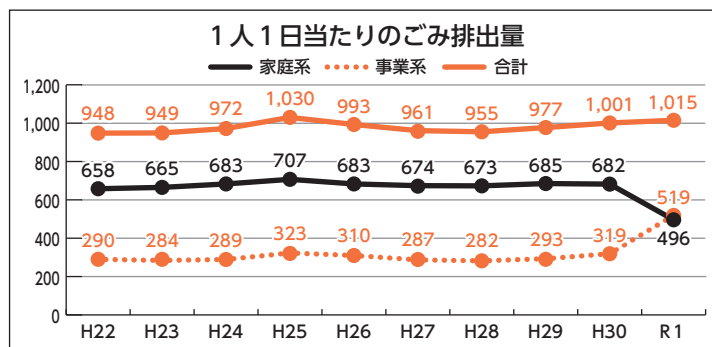
答 (酒森町長)

今年度、ごみ処理基本計画を見直し、ごみ処理と生活排水処理方針をまとめ一般廃棄物処理基本計画を策定するので、町

民・事業者・行政の役割を明確にしながら取り組みを進めていく。



菅 敏範 議員



質問

来年度事業の見直しや予算編成は

答

事業の抜本的改革、予算の適宜見直しも必要



齊藤 徹 議員

Q1 R2年度一般会計の進捗状況とR3年度以降(予算・財政)の見直しについて

収見込みなどを踏まえ、適宜見直ししていく。

質問

経常一般財源を増やす具体的な考えはあるか。

答

交付税によるところが

大きく、町税収納率の向上や使用料等の改訂などが考えられる。財源を増やすことは難しいが、経常経費の削減に努めたい。

質問

牧場管理費が、第5期から第6期総合計画に向けて、改築等計画予定されているが、使用料改定の状況は。

答

コロナの影響で推測できない状態。次年度予算編成については、今までの慣例や予算を一切排除して対応しなければならず、適切な財政運営のなかで事務事業を進める。



コロナ禍で中止となった町内イベント

質問 第2期創生総合戦略の事業の見直し変更はないのか。

答

(酒森町長) 会議での意見等を踏まえ、施策や事務事業の見直しを行うこととしているが、今後の協議により必要な場合は適宜、見直ししていく。

質問

今後、財政シミュレーションの変更はないのか。

答

(酒森町長) 国の地方財政計画や税



質問 扶助費の軽減のため、統合・廃止できる行事など、事業の見直しも必要な時期と思うが。

答

(酒森町長) 事業や行事等に関わらず、生活全般において、全ての分野でコロナの影響を考えると必要になるため、それぞれ1つ1つ検討すべきである。



一目でわかる 審議結果

全会一致の議案

第4回臨時会	令和2年度大樹町一般会計補正予算（第5号）について 歳入歳出それぞれ3億9,975万5,000円を追加し、予算の総額を82億2,852万円としました。	原案可決
	令和2年度大樹町介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）について 歳入歳出それぞれ221万8,000円を追加し、予算の総額を4億3,991万8,000円としました。	原案可決
	令和2年度大樹町水道事業会計補正予算（第1号）について 収益的支出の予定額を5億925万8,000円としました。	原案可決
第3回定例会	令和元年度健全化判断比率について 令和元年度の健全化判断比率は、監査委員による審査の結果、いずれも良好であると報告されました。	報告済
	令和元年度資金不足比率について 令和元年度の資金不足比率は、監査委員による審査の結果、いずれも良好であると報告されました。	報告済
	教育委員会委員の任命について 教育委員会委員に、一戸勉氏を任命することに同意しました。	同意
	北海道町村議会議員公務災害補償等組合理約の変更について 組合構成団体のうち3組合が解散したため、規約の一部を変更しました。	原案可決
	北海道市町村総合事務組合理約の変更について 組合構成団体のうち3組合が解散したため、規約の一部を変更しました。	原案可決
	北海道市町村職員退職手当組合理約の変更について 組合構成団体のうち2組合が解散したため、規約の一部を変更しました。	原案可決
	令和2年度大樹町一般会計補正予算（第6号）について 歳入歳出それぞれ1億1,031万1,000円を追加し、予算の総額を83億3,883万1,000円としました。	原案可決
	令和2年度大樹町国民健康保険事業特別会計（事業勘定）補正予算（第3号）について 歳入歳出それぞれ323万8,000円を追加し、予算の総額を6億7,797万6,000円としました。	原案可決
	令和2年度大樹町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について 歳入歳出それぞれ62万2,000円を追加し、予算の総額を9,692万2,000円としました。	原案可決
	令和2年度大樹町介護保険特別会計補正予算（第1号）について 歳入歳出それぞれ2,515万6,000円を追加し、予算の総額を7億2,805万6,000円としました。	原案可決
	令和2年度大樹町介護サービス事業特別会計補正予算（第2号）について 歳入歳出それぞれ354万4,000円を追加し、予算の総額を4億4,346万2,000円としました。	原案可決
	令和2年度大樹町水道事業会計補正予算（第2号）について 資本的支出の予定額を3億2,049万1,000円としました。	原案可決
	令和2年度大樹町立国民健康保険病院事業会計補正予算（第1号）について 収益的収入・支出の予定額をそれぞれ11億406万8,000円としました。資本的収入の予定額を6,405万円、資本的支出の予定額を6,572万円としました。	原案可決
	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について 生花行政区会館を改築するため総合整備計画が策定されました。	原案可決
	工事請負契約の締結について Point! 5,000万円以上の工事請負契約の締結には議会の議決が必要です！ 大樹町役場庁舎建設工事（建築主体）の請負契約を10億7,030万円で締結しました。	原案可決
	工事請負契約の締結について 大樹町役場庁舎建設工事（電気設備）の請負契約を3億5,108万2,600円で締結しました。	原案可決
	工事請負契約の締結について 大樹町役場庁舎建設工事（機械設備）の請負契約を3億1,900万円で締結しました。	原案可決
	工事請負契約の締結について 大樹町役場庁舎建設工事（地中熱設備）の請負契約を2億8,919万円で締結しました。	原案可決

次のページへ続く

第3回定例会	工事請負契約の締結について 大樹町役場庁舎建設工事（外構第1工区）の請負契約を1億3,007万5,000円で締結しました。	原案可決
	工事請負契約の締結について 多目的航空公園倉庫新築工事の請負契約を9,900万円で締結しました。	原案可決
	財産の取得について Point! 700万円以上の財産の取得又は処分は議会の議決が必要です！ 新型コロナウイルス対策用パーテーション150台を828万3,000円で購入することとしました。	原案可決
	財産の取得について 児童生徒用のタブレット端末402台を3,938万円で購入することとしました。	原案可決
	財産の処分について 立木（トドマツ、カラマツ、広葉樹）を825万円で売り払うこととしました。	原案可決
	令和元年度大樹町一般会計決算認定 令和元年度歳入68億3,261万6,618円、歳出66億9,709万1,271円の執行について認定しました。	認定
	令和元年度大樹町国民健康保険事業特別会計（事業勘定）決算認定について 令和元年度歳入6億9,310万9,729円、歳出6億7,035万8,145円の執行について認定しました。	認定
	令和元年度大樹町後期高齢者医療特別会計決算認定について 令和元年度歳入9,198万7,641円、歳出9,176万4,797円の執行について認定しました。	認定
	令和元年度大樹町介護保険特別会計決算認定について 令和元年度歳入7億3,550万262円、歳出7億1,172万6,021円の執行について認定しました。	認定
	令和元年度大樹町介護サービス事業特別会計決算認定について 令和元年度歳入4億48万2,464円、歳出3億8,744万4,188円の執行について認定しました。	認定
	令和元年度大樹町公共下水道事業特別会計決算認定について 令和元年度歳入4億1,286万7,819円、歳出4億647万4,558円の執行について認定しました。	認定
	令和元年度大樹町水道事業会計決算認定について 令和元年度歳入5億3,993万1,548円、歳出8億80万8,833円の執行について認定しました。	認定
	令和元年度大樹町立国民健康保険病院事業会計決算認定について 令和元年度歳入9億2,301万1,547円、歳出10億5,252万8,912円の執行について認定しました。	認定
	令和2年度大樹町一般会計補正予算（第7号）について 歳入歳出それぞれ5億647万円を追加し、予算の総額を88億4,530万1,000円としました。	原案可決
	工事請負契約の締結について 木質バイオマスと太陽光発電等を活用したスマート街区構築工事の請負契約を5億3,240万円で締結しました。	原案可決
	福祉センターのリニューアルについての要望 今後の人口動態や利用状況を見ながら、引き続き改築を含めて在り方を検討するため、趣旨採択としました。	趣旨採択
	核兵器禁止条約への日本政府の署名と批准を求める陳情書 日本は核保有国と非保有国との橋渡し役を担うべきとしている政府の取り組みを見守るため、不採択としました。	不採択
	林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書について 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策を充実強化するよう要望する意見書を提出しました。	原案可決
	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書について 住民の安心・安全な暮らしを支えるための地方一般財源を確保するよう要望する意見書を提出しました。	原案可決
	国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書について 長期安定的な道路整備を充実強化するよう要望する意見書を提出しました。	原案可決

広報広聴常任委員会 広報部会



委員長 志民 和義
副委員長 正雄
委員 吉岡 信弘
委員 西山 弘志
委員 船戸 健二
委員 齊藤 徹
委員 辻本 正雄

編集後記

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からイベントの中止が相次ぎ、高齢者などからどこにも出ていく機会がなく退屈という声を聞きました。今まで当たり前だったことが実は貴重な毎日だったことに気づかされ、1日も早い新型コロナウイルスの終息を待ち望んでいます。先日、大樹高校のご配慮で高校生議会のための一般質問サポート授業を行わせていただきました。質問内容を拝見し、現状を的確にとらえた高校生ならではの視点を感じました。

委員 志民 和義